

# 観光情報サイトに載りにくい準観光スポットの情報共有システム

堀井 祐磨, 高山 毅

尾道市立大学経済情報学部

## 1. はじめに

近年の観光情報サイトは、「事業者が明確」かつ「利益を発生させやすい」スポットの情報共有に傾倒している。一方で、「子どもを連れて行くのに良い公園」「夜景スポット」他、ニーズがあるのに情報共有が充分とは言えないスポットは、少なくない。この種のスポットを「準観光スポット」と呼ぶことにする。

本稿では「準観光スポット」の情報共有システムを提案する。提案システムは、以下の三機能を持つ：i) 準観光スポットを適切なデータ構造で情報共有する機能, ii) DMO や行政に留まらず、旅行代理店や宿泊予約サイトといった事業者側が、認証を経てスポットの登録を容易に行える機能, そして, iii) 観光者がテーマ選択によってスポットの閲覧を容易に行える機能である。ここでの「テーマ」とは、前述の「夜景スポット」等、「準観光スポット」の分類例を指す。

## 2. 準観光スポット共有の従来方式

準観光スポットを情報共有する従来のサイトは、ボランタリーベースのものが支配的で、そのデータ項目は必ずしも統一されていない([1]-[7])。さらに、地域やテーマの網羅性も充分とは言えない。文献[8]では、京都市の花見スポットの探索システムを例に挙げているが、「花見」という1つのテーマに絞ってしまっている。つまり既存システム/サイトでは、複数のテーマに沿った観光スポットを発見したい場合には、複数のサイトを見なければならぬ煩雑性がある。

## 3. 準観光スポットの情報共有システムの提案

### 3.1 テーマに見合うデータ項目の決定方式

既存サイトを複数比較し、共通項目でスキーマを統合[9]した後、重要項目を加える。例えば、「夜景スポット」[1][2]を例にとる場合、共通項目として「入場料金」「雰囲気」「展望台」「車内からの鑑賞」を採用する。さらに、重要項目として[1]から、「運転が難しい」を採用する。

「子どもを連れて行くのに良い公園」([3]-

[5])の場合には、共通項目として「入場料金」「駐車場の有無」「レストラン・売店」「ベビーカーでの入場」を採用する。重要項目として[3]より、「バリアフリー」, 「雨天時でも遊べる」を採用する。

「ホテル鑑賞スポット」[6][7]の場合には、共通項目として「観測時期」, 「代表的なホテル」, 「駐車場の有無」を採用する。重要項目として[7]より、「ホテル祭り」, 「ガイド付き鑑賞」を採用する。

### 3.2 試作システム

今回は神奈川県, 広島県, 岡山県, 京都府の四つの府県で、試作システムを開発した。

#### 3.2.1 登録メニュー

**Step1:** ユーザは「登録する」ボタンを押した後、ログインする。登録したいスポットの「地域」「テーマ」「画像」「スポット名」「住所」「説明」等を入力する(図1)。

**Step2:** ユーザは登録したいスポットのテーマに沿ったデータ項目を入力し、登録する(図2)。

#### 3.2.2 検索メニュー

**Step1:** ユーザは「検索する」ボタンを押した後、検索したいスポットの「地域」と「テーマ」を選択する。

**Step2:** 該当するスポットが一覧表示される(図3)。

図1 登録する際のスポット情報入力画面。

▶以下の項目について入力してください。

テーマ:夜景スポット

雰囲気

運転が難しい

展望台

車内からの鑑賞

入場料金 (半角数字)

図2 登録する際のデータ項目入力画面。

広島県の夜景スポット

	スポット名	入場料金	雰囲気	運転が難しい	展望台	車内からの鑑賞
<a href="#">詳細情報</a>	千光寺	0	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<a href="#">詳細情報</a>	愛宕神社	0	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<a href="#">詳細情報</a>	黄金山	0	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<a href="#">詳細情報</a>	鈴が峰公園	0	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<a href="#">詳細情報</a>	呉中央棧橋ターミナル	0	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

図3 検索結果の一覧表示画面。

Step3: 「詳細情報」ボタンを押すと、スポットの詳細を見ることが出来る。

## 4. 評価実験

### 4.1 方法

以下の3つの課題を被験者に依頼する。

- 課題①: 神奈川県「子どもを連れて行くのに良い公園」を探す。ただし、「バリアフリー」かつ「雨天時でも遊べる」という条件のスポットを探す。
- 課題②: 京都府の「夜景スポット」を探す。ただし、「展望台」があり、「運転が難しい」ということがないスポットを探す。
- 課題③: 岡山県の「ホテル鑑賞スポット」を探す。ただし、「駐車場」があり、「代表的なホテル」がゲンジボタルという条件のスポットを探す。

課題①-③のいずれも、2分間で出来るだけ多く書き出して正解率を計測する。更に、被験者には以下の項目について、五段階で定性的評価を依頼する: 「条件に合うスポットを容易に見えたか」、「各スポットの付加情報の量や内容は適切か」、「ある種のスポットを探すために一つのシステム/サイトのみでは網羅できず、複数のシステム/サイトを検索しなければならないことをどう思うか」

## 4.2 結果(表1)

表1 システムごとの課題①~③の結果

	課題①			課題②			課題③		
	システム名	正解率(%)	回答数(個)	システム名	正解率(%)	回答数(個)	システム名	正解率(%)	回答数(個)
提案システム		96.9	4.0		100.0	5.0		100.0	3.0
競合システム1	[4]	60.0	0.7	[1]	72.2	2.6	[6]	100.0	1.6
競合システム2	[5]	56.3	2.3	[2]	80.0	1.3	[7]	94.7	2.4

課題①~③のいずれでも、提案システムが最良の正解率を得た。課題③ではサイト[6]も同じ正解率であったが、回答数では提案システムが上回った。紙幅の都合により詳細は省くが、定性的評価でも、提案システムが最良の結果を得た。

## 5. 結論と今後の展望

本稿では、ニーズがあるにも関わらず、利益が発生しにくいことで情報共有が十分に為されない「準観光スポット」の情報共有システムを提案した。評価実験の結果、提案システムは有効との結果を得られた。今後の展望として、i) Google Map と連携して地図や案内を表示する機能、ii) テーマごとの固有のデータ項目でのソート、絞り込み機能、iii) 登録機能を使用できるユーザの範囲の更なる検討[10]などが挙げられる。

### 参考文献

- [1] 夜景 INFO, <https://www.nightview.info/>
- [2] yakei.jp, <https://yakei.jp/>
- [3] 1000円もって公園へ行こう!, <http://1000enpark.com/>
- [4] 子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」, <https://iko-yo.net/>
- [5] ママのロコミを集めたおでかけ情報サイト「EPARK ママこえ」, <https://mamakoe.jp/>
- [6] 全国ほたる情報ウェザーニュース, <https://weathernews.jp/s/hotaru/>
- [7] るるぶ.com ホテル鑑賞に行こう!, <https://www.rurubu.com/season/summer/hotaru/>
- [8] 馬強: 観光情報学の最前線-観光の分散化と個人化を促進する集合知活用情報技術-, 情報処理, Vol. 58, No. 3, pp. 220-226, 2017.
- [9] 北川博之: データベースシステム, 昭晃堂, 1996.
- [10] 坂村美奈ほか: みなレポ: 地方自治体の日常的な行政業務における参加型センシングによる情報収集・共有システム, 情報処理プラクティス, Vol. 9, No. 2, pp. 550-572, 2018.